
国民ID制度と トラストフレームワーク

2010年11月25日(木) 13:30~13:50
for InternetWeek 2010

OpenID® Foundation
副理事長 崎村夏彦

OpenID Foundation について

- **2007年設立、米国オレゴン州非営利法人**
- **Internet Identity の課題解決を推進**
 - **新仕様の策定**
 - **制度面の整備**
- **知財管理**
 - **メンバーに特許の傘を提供**

現行の法人会員

Sustaining Corporate Members (\$50,000)



Corporate Members (\$500~\$10,000)



Non-profit Members (\$100)



(2010/10末段階)

個人会員 (\$25)

理事選出

- Brian Kissel, Chair
- Nat Sakimura, Vice-Chair
- Chris Messina, Secretary
- David Recordon
- Joseph Smarr
- Allen Tom
- Marc Frons
- Daniel Jacobson
- John Bradley
- Dick Hardt
- Robert Harles

現在、理事選中。ぜひメンバーになってご投票を！

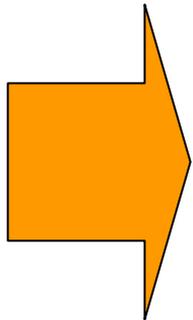
<https://openid.net/foundation/members/registration>

目的を見失ってはいけない

■ビジョン

- **情報主権**を政府・提供者から納税者・消費者である国民へ転換、
- 市民レベルでの知識・情報の共有を通じた新たな「**知識情報社会**」への転換を実現し、
- 国民の**暮らしの質**を飛躍的に向上させる。

(出所)IT戦略本部 新たな情報通信戦略(2010/5)を元に作成



民主主義の
強化

成長戦略

国民IDコード？ 番号？

■番号があればすべて解決？

- アメリカではSSNでやってるじゃないか！？

■DoD Social Security Number (SSN) Reduction Plan

- This DTM establishes the DoD policy for the use of the SSN and guidance for reducing its unnecessary use. **President's Task Force on Identity Theft Strategic Plan, Apr.2007** requires all Federal agencies to develop and implement a plan to **reduce the unnecessary use of SSNs.**
- 本文書は、米国防総省が認めるSSN利用について書かれている。SSNの利用が許されるのは例外であり、これ以外の利用は認められない。
 - ・例えば、銀行との取引についても、当初の口座紐付けのみに使い、以降は口座番号を使うこととされている。

■見える番号を作ると必ず間違っ使われて、Identity Theft を蔓延させるとい認識も(EFF)

- 識別子の望ましい性質は？

そもそも「国民」で良いのかという話もあるが...

国民が主導する知識情報共有社会実現のために本来考えるべきテーマ

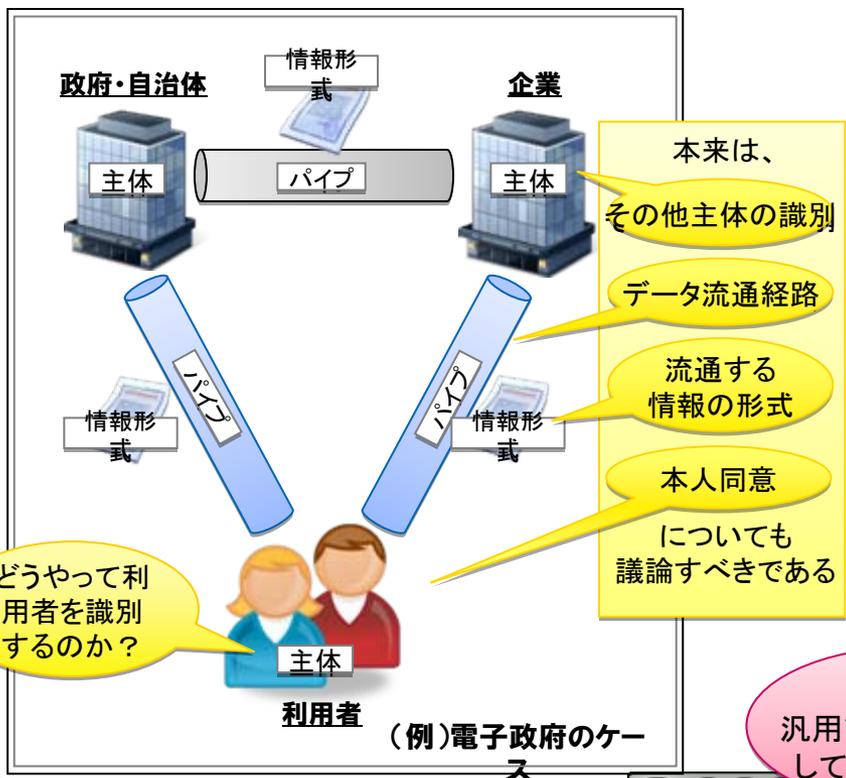
国民主体の知識情報共有社会の実現のためには、以下の要素が必須である。以下のような取り決めが社会インフラとして整備されていないことが、実現を阻んでいる

- 主体の識別の話
- データ流通に対する主体の同意の話
- データ流通経路(パイプ)の話
- パイプを流れる情報形式の話

国民ID制度の検討の中でこれらの要素の取り決めを行い、官の枠組みを越えた、国民のための汎用的なID流通プラットフォームを構築すべきである。

これにより、情報流通が促進され、既存のサービスの利用拡大、新サービスの創生につながっていく

各政策や産業が当該プラットフォームを活用することで、利用者の利便性を向上させ、社会コストを下げる



- 電子政府 (OpenGov)
- 税・社会保障の番号制
- クリニックでも
- eコマース (ネット決済)
- 金融サービス (金融取引)
- ...

国民ID流通プラットフォーム
 (Citizen Identity Distribution Ecosystem - CIDE)

個人情報保護と利活用 / 個人や組織の識別
 自己情報コントロール / 第三者による監査・カバンス
 標準技術と標準ポリシー

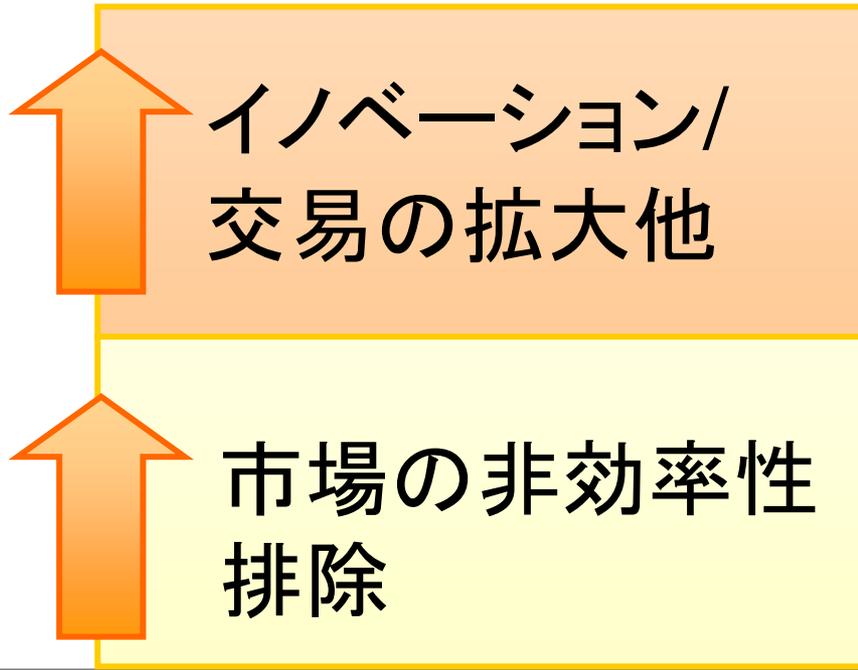
横串の汎用ソリューションとしての機能を提供

民主主義の
強化
(情報主権)

成長戦略
(「知識情報
社会」への転
換)

成長の源泉

現状



- 生産技術革新
- ○○の流通速度向上
- 外国との取引の拡大

- 競争の促進
- 情報の非対称性緩和
- 費用逦減対策

イノベーション/交易の拡大他

- *生産技術の革新のやりかたはわからないけれども...*
- **情報流通の速度の向上のやりかたはわかる**

情報の(安全・安心な)流通速度の向上

- ① (情報の出し手・受け手を)**識別**し、
- ② 想定する相手だけが受け取れるように**情報を渡す**
- ③ 情報の取り扱い状況を**モニター**できるようにする

外国との交易の拡大

- ① **国際標準準拠で相互連携・運用**

市場の非効率性排除

競争の促進

- 参入の自由の確保／他

情報の非対称性の緩和とスケーラビリティの向上

- **トラストフレームワーク**

費用逓減対策

- 国費補助による離陸援助／他

トラストフレームワーク

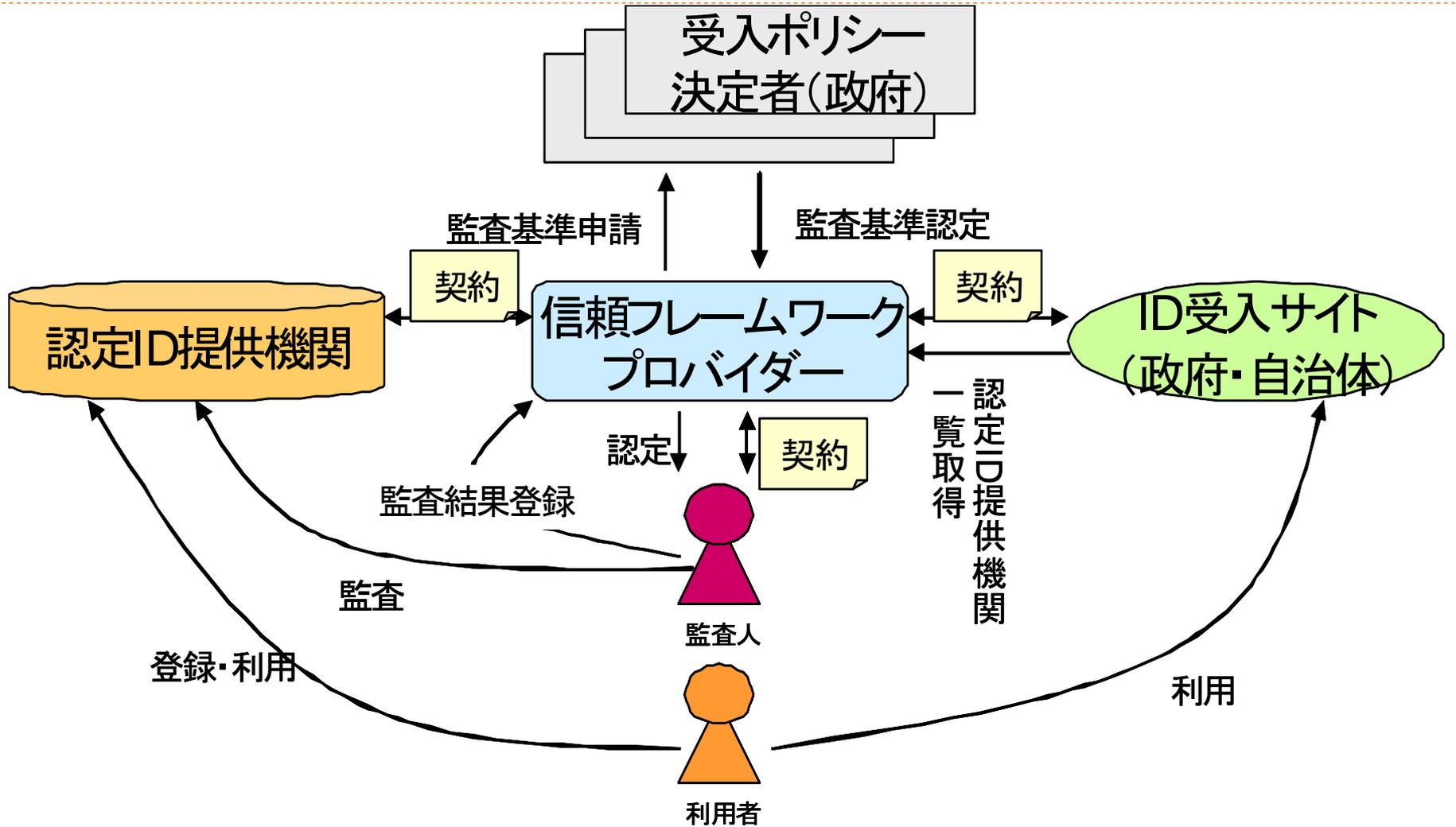
■情報の非対称性対策

- それぞれの主体の「主張」がどれくらい信頼できるかを、監査・他で計測

■責任分担の明確化と契約のスケーラビリティ対策

- 主体がNいると、契約は $N \times (N-1) / 2$ 本必要になる
- これを、「トラストフレームワーク・プロバイダ(TFP)」を中心に、加入契約にすると、N本で済むようになる。

トラストフレームワーク



(出所) 総務書電子政府推進対応ワーキンググループ報告書(案) (2010/10)

Open Government

■ 民主主義をいかに強化するか

■ Governance 2.0

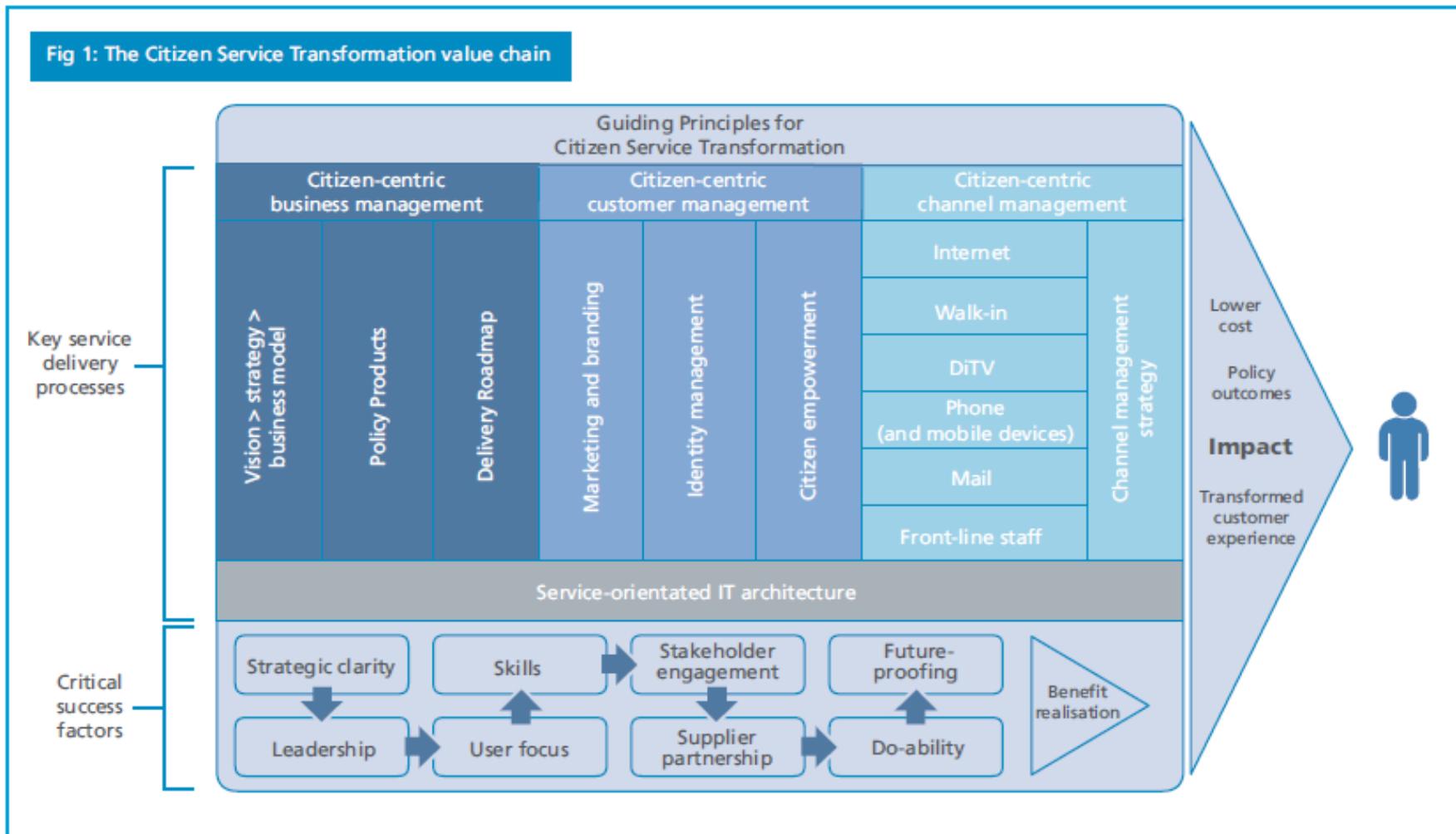
- 法律は社会のプラットフォームであった
- 法律は現実に追いつけなくなり、むしろ阻害要因となりつつある
- いかにしてあらたなガバナンスプラットフォームをつくるか？

- 予算の作成プロセス～執行プロセス～評価の透明化と民による監視

結論

- 目的を見失うな！
 - 国民が主導する**知識情報共有社会実現**(情報主権、成長戦略)
- 番号／コードだけあっても解決しない。**アーキテクチャ全体を議論しない**と。
 - 識別、認証・アクセス手段、本人同意フレームワーク、データ交換プロトコル、データフォーマット標準化
- できるだけ**民間活用**し、**競争**を生む
- 「**市場の失敗対応**」および「**スケーラビリティの確保**」として、**トラストフレームワーク**が必要
- 法での規定だけでは追いつけない
 - より柔軟な**ガバナンス・フレームワーク**が必要
(例: 契約ベース、インセンティブスキーム、プライバシーコミッショナーによる裁定、など)

(参考) The Citizen Service Transformation value chain



(出所) CS Transform “Citizen Service Transformation” (2010/2)

OpenID[®]ea